

2020 年度 第 96 回 日本学生選手権の開催に向けて

【考え方】 インカレとして『学校対抗』を堅持する

- ⇒ 学校対抗（得点配分）に影響を及ぼさない範囲で、大会規模の縮小を図ることを目的とする。
- ⇒ “学生日本一決定戦”として、全国(各支部)からの学生参加をめざす。

【エントリー資格】

- ⇒ 支部選手権（予選会）を実施できなかった場合の特例出場枠は、「2019年4月1日からエントリー締め切り日まで」のランキング上位者とする。
 - ・個人種目は1校1種目3名、1名2種目以内。リレー種目は1校1種目につき1チーム。
 - ・個人種目 標準記録の突破対象期間に、参加標準記録を突破している者。
 - ・リレー種目 標準記録の突破対象期間に、参加標準記録を突破しているチーム。
- ※個人の標準記録突破は、個人に与えられる権利として、その所属を問わない。
- ※リレーの標準記録突破は、チームに与えられる権利として、その樹立メンバーを問わない。
- ※標準記録の突破対象期間は、「2019年4月1日からエントリー締め切り日まで」とする。
- ※8月からの支部事業再開可を受けて、支部選手権実施の場合の参加資格を有効とする。

【出場制限】

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、上記エントリーを受け付けたのち、安全に開催できる規模への出場制限を行う。

- ・個人種目 2019年4月1日からの長水路のベストタイムにより上位32名または40名（昨年度参加人数実績7組相当56名までは32位、8組相当57名以上は40位とする。）
 - ・リレー種目 2019年4月1日からの長水路のベストタイムにより上位24チーム
- ※ただし、個人種目は、9月1日時点での社会情勢を考慮して、最終の参加可能人数を発表する。

9月1日 エントリー制限発表日 9月11日 エントリー締め切り日

- ※制限順位が複数になった場合は、短水路のベストタイム上位者（チーム）を優先する。
- ※辞退者による繰り上げは行わない。

【学校対抗】

- ・予選、決勝方式とする。ただし、800m・1500m自由形は、タイムレース決勝とする。
- ・予選9位から16位に、B決勝相当の得点を与える。
- ・学校対抗は、リレー種目に「エントリー」した大学にて行う。

【その他】

- ・エントリーされた選手により班組を行い、プログラム（スタートリスト）も作成する。
- ・出場制限により、大会に出場できなかった者には「参加賞」および「参加資格証明」を発行する。
- ・1日目の男女50m自由形（予選・決勝）を、公式練習日の夕方に競技を移動し実施する。
- ・エントリー締め切り後、12月31日までの公認記録にてエントリーの追加受付を行い、「参加資格証明」の追加発行を行う。
- ・所属大学の課外活動が認められていない大学は出場することができない。

以 上